

研究課題 (テーマ)	知識の定着・深化を実現するデータサイエンス実験の構築		
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	データサイエンス学科	教授	高野博史 (学生実験 WG)
研究結果の概要			
<p>令和7、8年度からデータサイエンス実験1および2を実施するために、令和6年度では、データサイエンス実験1について、実験全体の運用方針を検討し、その結果を踏まえて以下の3項目を実施した。令和6年度は準備期間であったため、準備状況を示す。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 実験テーマおよび実験内容の検証 実験テーマは5課題として、各テーマを2週にわたって実施することとした。各テーマで扱うデータは画像や音声、地図、心理尺度アンケートなど多岐にわたるものを選定した。また、各データに対する分析方法を洗い出した。</li><li>2. 実験機材の整備 各実験テーマで必要となる機材を検討し、機種を選定を行った。また、実験全体の運用方法を踏まえて、実験機材を必要数そろえた。</li><li>3. 実験マニュアルの作成 各実験テーマに対して内容を精査し、実験のタイムテーブルおよび実施マニュアルを作成した。また、一部の実験テーマについては、学生が使用する実験テキスト案を作成した。</li></ol>			
今後の展開			
<p>令和7年度は、前期に研究室の学生に対して予備実験を実施し、後期から始まるデータサイエンス実験1が滞りなく行えるように準備を進める。また、データサイエンス実験1の実施状況を踏まえて問題点を洗い出し、今後の改善につなげる。一方、データサイエンス実験2については、実践デザイン思考とのつながりも考慮して実施方法をデザインする予定である。</p>			